

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

【中枢】High-dose MTX(sLV) +【BS】Rituximab療法

2~3週毎 コース予定

疾患名 中枢神経リンパ腫 (CNSL)

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5
リツキシマブ BS	375 mg/m ²	↓				
メトレキサート(メトレキサート)	3000 mg/m ²		↓			
アイソボリン(レボホリナート)	10 mg/body/回			↓↓↓↓	↓↓↓↓	↓↓↓↓

- 【注意】
- * リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと
 - * 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 - * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH \geq 7.0)する。
 - * MTX投与開始後24時間後・48時間後・72時間後のMTX血中濃度が、それぞれ
1x10⁻⁵M(10 μ mol/L)未満, 1x10⁻⁶M(1 μ mol/L)未満, 1x10⁻⁷M(0.1 μ mol/L)未満であることを確認し、どちらか一方でも超えた場合は、各々1x10⁻⁵M未満, 1x10⁻⁶M未満, 1x10⁻⁷M未満になるまで、十分な水分の補給、尿のアルカリ化、レボホリナートの増量や投与延長を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 * 初回投与は必ず入院で実施

① イブuproフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

☆30分後より

② 生食500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

*注:総量600 mLを超える時はテルモ生食1Lを使用

④ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

【中枢】High-dose MTX(sLV)+【BS】Rituximab療法

- ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服
☆30分後より
- ② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10倍希釈)
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
 - *注:総量600 mLを超える時はテルモ生食1Lを使用
- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

day 2

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

【中枢】High-dose MTX(sLV)+【BS】Rituximab療法

- ② グラニセトロン 3 mg 側管静注
- ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ④ メソトレキセート + 生食 350 mL 2 時間点滴静注

※生食 150 mLをバッグから前もって抜いておく

day 3～

- ① アイソボリン 10 mg 側管静注

アイソボリン 25 mg/Vを生食 5 mLにて溶解後、必要量 2 mLを採取する。

メソトレキセート投与開始 24 時間後より開始し、6 時間ごとに繰り返し静注する。

24、48、72 時間後に血中MTX濃度を測定する。

day 3, 4

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

day 5

生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

	コース	
	day1	day2
月日	/	/
リツキシマブ BS 開始時刻	↓	
メソトレキセート 開始時刻		↓
確認		

	コース											
	day3				day4				day5			
月日	/				/				/			
アイソボリン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認												